



発行所
 (一社) 長野県保育連盟
 長野市若里7-1-7
 TEL026(228)4415
 FAX026(228)9443
 e-mail:kenhoren@khaki.plala.or.jp
 http://horen-nagano.jp/
 題字 海野会長

「平成29年度処遇改善等加算」について

長野県県民文化部 とも・家庭課 保育係

長野県保育連盟の皆様方には、

日頃から子どもたちの保育にたいへん熱心にお取り組みいただき、ともに、本県の保育行政の推進に格別のご尽力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

今回は、施設型給付費等に係る処遇改善等加算について説明します。

29年度において、従来の処遇改善等加算は「加算Ⅰ」として整理され、新たに、技能・経験に応じた保育士等の処遇改善等加算である「加算Ⅱ」が創設となります。

○加算Ⅱの算定

以下の加算を合算した額を各月初日の利用子ども数で除した額となります。(家庭的保育事業を除く・10円未満端数切捨て)

なお、加算単価は、社会保険料の

事業主負担分を含んでいます。

「幼稚園」

Ⅱ ① 50,420円×人数A

Ⅱ ② 6,300円×人数B

「保育所・小規模保育事業」

Ⅱ ① 48,600円×人数A

Ⅱ ② 6,080円×人数B

「認定こども園」

Ⅱ ① 49,540円×人数A×1/2

Ⅱ ② 6,190円×人数B×1/2

「家庭的保育事業」

Ⅱ ① 48,600円÷各月初日の利用子ども数

Ⅱ ② 6,080円÷各月初日の利用子ども数

「事業所内保育事業」

利用定員6人以上は保育所と同様

利用定員5人以下は家庭的保育事業と同様

業と同様

○加算Ⅱの対象職員数

次のように算出した人数に、「人数A」は「1/3」、「人数B」は「1/5」を乗じて得た人数となります。(端数は四捨五入)

「保育所」

a から e の計に、定員40人以下は2、41～90人は3、91～150人は2、150人以上は3を加える。

a 年齢別配置基準による職員数

b 保育標準時間認定14

c 主任保育士加算1

d 休日保育加算0.5

e チーム保育推進加算1

保育所の例を記載しました。施設類型・事業によって異なります。

○加算Ⅱの対象職位

次に相当する職位の発令や職務命令が必要です。(家庭的保育事業所及び居宅訪問型保育事業所を除く)

「幼稚園」

(ア) 中核リーダー、若手リーダー

「保育所・地域型保育事業所」

(イ) 副主任保育士、専門リーダー、職務分野別リーダー

「認定こども園」

(ア) 及び (イ) に相当する職位

○加算Ⅱの対象職員要件

経験年数に係る要件は、施設・事業者の判断で柔軟な対応が可能です。(家庭的保育事業所及び居宅訪問型保育事業所を除く)

問型保育事業所を除く)

(ア) 副主任保育士、専門リーダー、中核リーダーについては、概ね7年以上の経験年数
(イ) 職務分野別リーダー、若手リーダーについては、概ね3年以上の経験年数を有し、いずれかの分野を担当すること

なお、29年度においては、研修の受講は加算要件ではありませんが、29年度においても、対象職員が県等の行う研修にできるだけ参加できるように、ご配慮をお願いします。

○加算Ⅱによる賃金改善額

賃金改善は基本給または役職手当、職務手当など職責、職務に応じて決まって毎月支払われる手当により行う必要があります。

(ア) 副主任保育士等は月額4万円
(イ) 職務分野別リーダー等は月額5千円

ただし、月額4万円の賃金改善を行う職員数を「人数A÷2(端数切捨て)」人確保した上で、園長及び職務分野別リーダー等を除く職員に、月額5千円以上4万円未満の賃金改善を行うことができます。

この他、賃金改善計画書の作成、周知等が必要ですので、詳細は内閣府の通知をご覧くださいませようお願いします。

(一社) 長野県保育連盟

平成29年度通常社員総会の報告

平成29年度通常社員総会は、5月22日、長野市において開催されました。

海野会長のあいさつ、長野県の草間こども・家庭課長様からご祝辞を頂いた後、海野会長の進行により議事に入りました。提案した次の議案はすべて全会一致で承認・可決されたことをご報告いたします。

第一号議案 一般社団法人長野県保育連盟

平成28年度事業報告について

第二号議案 一般社団法人長野県保育連盟

平成28年度収支決算報告について

監 査 報 告

第三号議案 一般社団法人長野県保育連盟

平成29年度事業計画(案)について

第四号議案 一般社団法人長野県保育連盟

平成29年度収支予算(案)について

第五号議案 理事の選任について

第六号議案 監事の選任について

海野会長あいさつ

本日はお忙しい中、平成29年度一般社団法人長野県保育連盟通常社員総会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、長野県こども・家庭課の草間課長様、鷲澤課長補佐様にはご臨席を賜り、改めてお礼を申しあげます。

平成27年度から子ども・子育て支援新制度がスタートし、2年が経過したところでございます。また、昨年度には社会福祉法人制度改革が行われまして、私立の各園におかれましては、理事会、評議員会などご苦勞されているところかと思えます。

さて、昨年の8月に閣議決定されました「一億総活躍プラン」の中に待機児童の問題と保育士さんの処遇改善ということが盛り込まれました。本年度から女性の一般社会平均の給与水準との差を埋めるということで月額4万円を、最初はみんなに支給するのかなと思つたら、そのうち7年以上の人ということになり、7年以上なら全員なのかと思つたら施設の中のだいたい3分の一くらいと、どんどん条件が変わってきておりまして、今、試算が行われているところでございます。

その一方、私も私立の園は子ども・子育て勘定というお金の中、市町村の場合ですと一般財源という中で、園を運営するための資金が拠出されている訳でございますけれども、子ども・子育て拠出金というのが社会保険の事業主負担にありまして、そこを財源とした企業主導型保育事業というのが始まりました。これは各市町村の子ども・子育て会議等々を経由せずに、直接企業が申請すればだいたい通るといふ内容のものがスタートしてまいります。これが「保育の質」というものに対してどういう影響を与えるのか、ということが懸念されております。

今、タブレットで「企業主導型保育所」と打ち込んでみましたら「あなたも始めませんか」という内容で載っております。「集客率アップのために英語教員を派遣します。」というのが最初に出てきます。どんな内容のものが進出してくるのか

全くわからない状況であります。保育についてこれほど社会的認知が深まった、広がったということとをありがたいことだと思っておりますが、一方で、保育士さんの仕事は大変なんですとね、と理解してくださるならいいのですが、給料は低い、仕事は大変、社会的にどうなんだ、ということになってしまい、じゃあうちの娘を保育士で働かせるのはやめましょう、ということになってしまふ部分もございまして。

更に、企業主導型や一般企業がやっている保育所にお勤めになる方もいらっしゃるんですけども、そこにお勤めになられている方にお伺いしたら、「書き物」がないので楽でいい、ということをおっしゃっています。「保育の質」という意味を本当に考えたときに大変危惧されます。そういう場所ですと最初に社会の第一歩を過すということが、そのお子さんにとって将来にどれだけの影響を与えるのか、ということが懸念される場所です。ですから我々は、きちんと「保育の質」を担保していく、それが本当に大切なことであると思っております。

後ほど県から行政説明もございしますが、長野県でも保育士さんの研修体系をしっかりとっていくと、取り組んでいただいております。一緒に「保育の質」をきちんと上げて、社会一般にもそれをご理解いただき、子育てといふこの時期における人との関わりがどれだけ大切であるかということをお伝えしていく、そんな役割も我々は担っていると考えております。

本日は提案の議題につきまして慎重にご審議いただきまして、「保育の質の向上」のために力を尽くしてまいりたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いたします。

(一社) 長野県保育連盟 平成28年度事業報告

1 会 議

通常社員総会
平成28年5月23日(月) (長野市 ホテル信濃路)

2 理 事 会

第1回理事会
平成28年5月23日(月) (長野市 ホテル信濃路)

第2回理事会
平成29年3月9日(木) (長野市 ホテル信濃路)

監 査
平成28年4月25日(月) (長野市 長野県社会福祉総合センター 相談室)

(4)

正副会長会議
平成28年5月23日(月) (長野市 ホテル信濃路)
平成28年8月8日(月) (長野市 ホテル信濃路)
平成28年10月16日(日) (東御市 東御市文化会館サントラスホール)
平成28年12月26日(月) (長野市 県庁及びホテル信濃路)

(1) 2

各部会、委員会の活動
管理部会 (28年度は5回開催)
保育部会 (28年度は部会を6回、小委員会を1回開催)
給食委員会 (28年度は4回開催)
研修会等

(1) 3 (3) (2) (1) 2

「保育所地域子育て塾」の開催 (県下4会場)
東信地区 平成28年9月10日(土)
小諸市文化センター(703名参加)
演題 「子育てから生まれる絆、幼児が親心を育て社会にやさしさと絆が生まれる」
講師 松居 和先生

南信地区 平成28年7月9日(土)
諏訪市文化センター(812名参加)
演題 「いま、求められる保育の質」
講師 玉川大学教育学部 教授

北信地区 平成28年7月2日(土)
飯山市文化交流館「なちゅら」(534名参加)
演題 「保育の専門性に基づく環境構成」
講師 東洋大学ライフデザイン学部 准教授

中信地区 平成28年11月19日(土)
松本市 浅間温泉文化センター(473名参加)
高山 静子先生

(2)

演題 「夜型社会での子育ての悩み」
講師 東京ベイ・浦安市川医療センターCEO 神山 潤先生
私立保育所等理事長・所長研修会
平成28年8月22日(月) (23日(火))
千曲市「梅むら旅館」(63名参加)
行政説明 「社会福祉法人制度改革について」
講師 長野県県民文化部 とも・家庭課 担当係長 大内 貴子氏

長野県健康福祉部 健康福祉政策課 主査 若林 博氏
講演 演題 「子ども主体の協同的学び」が生まれる「保育」
講師 社会福祉法人仁慈保育園 理事長 妹尾 正教先生

(3)

全国保育協議会、全国保育士会等の研修
・全国保育協議会関係
・全国保育士会関係
主任保育士・主幹保育教諭特別講座 3名
正副会長セミナー 1名
食育推進研修会 1名

(1) 4

保育研究大会
第56回長野県保育研究大会 (東御市)
平成28年10月15日(土) (16日(日))
参加者数 第1日776名、第2日642名
・分科会 会場 東御市立東部中学校 教室他
・全体会 会場 東御市文化会館 サントラスホール
研究発表 東御市保育研究委員会
式典
記念講演
演題 「人としての根っこを力強く育てる保育」
講師 東京家政大学 井桁 容子先生

(2)

第57回関東ブロック保育研究大会 (神奈川県箱根町・小田原市)
平成28年7月7日(木) (8日(金))
長野県関係参加者数 71名

長野県関係の分科会発表者
発表者 第6分科会
駒ヶ根市 美須津保育園 園長 米澤 綾子先生
駒ヶ根市 飯坂保育園 園長 宮下 直美先生

(3)

第7分科会
軽井沢町 軽井沢西保育園 保育士 宮澤 幸子先生
軽井沢町 軽井沢西保育園 主任 神山 晶子先生
全国大会
・第60回全国保育研究大会 (徳島県徳島市)
平成28年10月12日(水) (14日(金))
・第50回全国保育士会研究大会 (兵庫県神戸市)
平成28年11月17日(木) (18日(金))

(1) 5

全国・関東ブロックの会議へ参加
全国保育協議会協議員総会
全国保育協議会協議員総会
全国保育組織正副会長等会議・事務局長会議
全国保育士会委員総会
関東ブロック保育協議会会長会議
関東ブロック保育事業連絡協議会
関東ブロック保育士会会長会議

6

機関紙「保育しなの」の発行 (広報委員会の開催 3回)
号 外 4月1日 発行
第160号 6月27日 発行
第161号 12月8日 発行
第162号 3月6日 発行

7

保護者向け情報誌「すこやか」の発行
第23号 (28年5月)、第24号 (28年9月)、第25号 (29年1月)
保育施策及び予算に関する知事要望
平成28年12月26日(月) 長野県庁

8

「保育施策と予算に関する要望書」及び「保育士等の資質向上に向けた職員研修の実施に関する提言」を提出し、阿部守一知事及び轟寛亮こども・若者担当部長と懇談した。
保育士養成校との懇談会
平成29年3月9日(木) (長野市 ホテル信濃路) (25名参加)

9

ホームページの開設及び情報発信
一般社団法人化に伴い、新たに保育連盟のホームページを開設し、各種情報の発信に努めた。

10

知的財産の取得
平成25・26年度に保育部会が行った調査研究事業の成果品である「LPDCA」を長野県保育連盟として商標登録した。

11

その他
・園児の保護者向けの「食事に関するリーフレット」を改訂し無償配布した。
・保育園、認定こども園で使用する保育要録等各種様式について改訂し、希望する園等に有償配布した。

12

(一社) 長野県保育連盟 平成28年度一般会計決算書

収入決算額 26,977,800円 支出決算額 23,073,807円 差引 3,903,993円 (翌年度へ繰越)

収入の部

(単位:円)

項 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	説 明
負 担 金	17,980,000	18,699,300	719,300	円 所・人 円 保育所 5,000× 561= 2,805,000 従事者 1,500× 7,152= 10,728,000 園 児 100× 48,858= 4,885,800 県社協 500× 561= 280,500
共 同 募 金 配 分 収 入	0	0	0	共同募金会助成金
参 加 費	1,600,000	1,730,000	130,000	保育研究大会 @2,000×865人
事 業 収 入	2,000,000	2,000,000	0	共同印刷ほか
雑 収 入	388,000	396,816	8,816	全保協等交付金・預金利子
繰 越 金	4,151,000	4,151,684	684	前年度繰越金
合 計	26,119,000	26,977,800	858,800	

支出の部

(単位:円)

項 目	予算額			決算額(B)	差引残額 (A)-(B)	説 明
	当初予算額	流用額	流用後の 予算額(A)			
事 務 費	8,315,000	0	8,315,000	7,598,235	716,765	
職 員 費	6,566,000		6,566,000	6,460,510	105,490	職員2名分給与・手当・社保等
旅 費	150,000		150,000	135,634	14,366	役職員旅費
需 用 費	400,000		400,000	368,250	31,750	事務用品・光熱費・コピー代等
役 務 費	500,000		500,000	388,161	111,839	電話・切手・宅配便等
委 託 料	619,000		619,000	235,680	383,320	商標登録事務委託料 会計ソフト導入委託料
公 課 費	80,000		80,000	10,000	70,000	理事変更登記の登録免許税
会 議 費	750,000	0	750,000	453,799	296,201	理事会・社員総会 正副会長会議
事 業 費	11,005,000	0	11,005,000	9,163,273	1,841,727	
研究大会費	3,170,000		3,170,000	2,646,492	523,508	保育研究大会(東御市)
研 修 費	1,309,000		1,309,000	776,944	532,056	関プロ保育研究大会 教育・保育施設長専門講座等
調査研究費	1,922,000		1,922,000	1,704,851	217,149	管理部会・保育部会 給食委員会
食事リーフレット 配布事業費	345,000		345,000	214,993	130,007	食事リーフレット印刷費
広 報 費	2,355,000		2,355,000	2,151,415	203,585	保育しなのの発行、編集委員会 ホームページ作成初期費用
保育所地域 子育て塾	1,200,000		1,200,000	1,186,720	13,280	保育所地域子育て塾(4会場)
表 彰 費	30,000		30,000	22,654	7,346	会長表彰
中央会議費	674,000		674,000	459,204	214,796	全国保育協議会・全国保育士会 関プロ会長会議等
負 担 金	4,303,000	0	4,303,000	4,258,500	44,500	全国保育協議会・全国保育士会 関プロ会長会、県社協等
積 立 金	1,600,000	0	1,600,000	1,600,000	0	平成32年度関ブロック保育研究 大会(長野県当番)準備
予 備 費	146,000	0	146,000	0	146,000	
合 計	26,119,000	0	26,119,000	23,073,807	3,045,193	

(一社) 長野県保育連盟 平成28年度一般会計積立金決算書 (単位:円)

項 目	金 額	備 考
平成27年度末積立金残額	3,600,399	
平成28年度 積 立 額	1,600,000	一般会計からの繰入
積立金利子	765	
平成28年度取崩し額	0	
平成28年度末積立金残額	5,201,164	

(一社) 長野県保育連盟 平成28年度事業会計決算書

収入決算額 14,494,853円 支出決算額 7,502,277円 差引 6,992,576円 (翌年度へ繰越)

収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額(A), 決算見込額(B), 増減(B)-(A), 説明. Rows include 共同印刷, 研究集録大会参加費, 予算対策協力金, 諸収入, 繰越金, 合計.

支出の部

(単位:円)

Table with 6 columns: 科目, 当初予算額, 流用額, 流用後予算額(A), 決算額(B), 差引残額(A)-(B), 説明. Rows include 共同印刷, 保育研究大会, 予算対策協出金, 一般会計繰出金, 諸費用, 合計.

積立資産の部

(単位:円)

Table with 3 columns: 項目, 金額, 備考. Row: 定期預金 13,500,000 利払式

(一社) 長野県保育連盟 平成28年度長野県保育災害保障共済会一般会計決算書

収入決算額 8,354,428円 支出決算額 7,114,606円 差引 1,239,822円 (翌年度へ繰越)

収入の部

(単位:円)

Table with 6 columns: 科目, 当初予算額, 補正額, 補正後予算額(A), 決算額(B), 増減(B)-(A), 説明. Rows include 分担金, 補助金, 雑収入, 繰入金, 繰越金, 合計.

支出の部

(単位:円)

Table with 6 columns: 科目, 当初予算額, 補正額, 補正後予算額(A), 決算額(B), 差引残額(A)-(B), 説明. Rows include 運営費, 会議費, 事務費, 事業費, 給付金, 積立金, 予備費, 合計.

(一社) 長野県保育連盟 平成28年度長野県保育災害保障共済会積立金決算書

(単位:口・円)

Table with 3 columns: 項目, 残高数量, 備考. Rows include 前期末現在額, 当期積立額, 新規積立(大和円定期), 公社債投信分配金, 大和円定期利息, 野村CRF分配金, 野村FFF分配金, 当期取り崩し額, 当期末現在額.

(一社) 長野県保育連盟平成29年度事業計画

平成29年3月31日、改定保育所保育指針が告示されました。同時に、改訂幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び改訂幼稚園教育要領も告示されました。共に1年間の周知期間を経て、平成30年4月1日から適用されます。保育所保育指針については、前回の改定から10年が経過し、この間に、子ども・子育て支援新制度が施行されたこと、0～2歳児を中心とした保育所利用児童数が増加したこと、子育て世帯の負担や孤立感の高まり、児童虐待相談件数の増加などの社会情勢の変化を踏まえた改定となっており、保育に携わる先生方には周知期間の間にこの新たな指針について内容をしっかりと学んでいただくことが期待されています。

長野県では平成29年度から新たに「保育士人材バンク」を設立します。保育士再就職支援コーディネーターを配置し、潜在保育士の掘り起こしや再就職支援などを継続的に行う仕組みを構築して、喫緊の課題である3歳未満児保育に対応する臨時的任用保育士等の確保を支援していくこととしていきます。

こうした状況を踏まえ、一般社団法人長野県保育連盟は、引き続き長野県や市町村の子育て支援対策に積極的に支援、協力をしていくとともに、保育所、認定こども園が地域で

担う役割、果たす使命を十分に認識して、園の活動や、保育士・保育教諭の自己研鑽活動などを支援していくことを目標として、平成29年度においては次の活動方針の下に別表の事業を実施します。

長野県では平成29年度から新たに「保育士人材バンク」を設立します。保育士再就職支援コーディネーターを配置し、潜在保育士の掘り起こしや再就職支援などを継続的に行う仕組みを構築して、喫緊の課題である3歳未満児保育に対応する臨時的任用保育士等の確保を支援していくこととしていきます。

こうした状況を踏まえ、一般社団法人長野県保育連盟は、引き続き長野県や市町村の子育て支援対策に積極的に支援、協力をしていくとともに、保育所、認定こども園が地域で

活動方針	内 容
1. 子どもの育ちと保護者の子育てを支える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 質の高い保育・教育のあり方について研究し実践につなげる。 ○ 保育士、保育教諭の資質の向上を図る。 ○ 保護者向けの子育て関連情報を発信する。
2. 地域における子育て支援の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域子育て支援拠点としての機能の充実を図る。 ○ 地域資源（人、物、知恵、環境など）の活用と連携を図る。
3. 子どもをあらゆる災害から守る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設内、施設周辺的环境を点検し、事故防止に努める。 ○ 子育て不安や児童虐待などに対する支援の充実を図る。 ○ 地域や関係機関との連携を深め、安全な保育環境を確保する。
4. 新たな事業展開への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページ、機関紙を活用して情報発信を行う。 ○ 関東ブロック保育協議会会長の事務局を担当する。 ○ 平成32年度関東ブロック保育研究大会の開催準備を進める。

(別表) 事業

事業名	内 容
長野県保育研究大会の開催	第57回長野県保育研究大会（岡谷市） 10月21日～22日
保育所地域子育て塾の開催	東信、南信、中信、北信の県下4地区で開催
調査及び研究	管理部会、保育部会、給食委員会で、保育を取り巻く諸課題や新たに求められる対応などについて調査・研究を進める。
食事に関するリーフレットの配布	子どもの食育の推進に供するため、園児の保護者に対して、年齢別の食事リーフレット（子どもの食事）を無償配布する。
機関紙の発行	連盟の機関紙「保育しなの」を発行（年3回、広報委員会担当）
ホームページの運営・管理	連盟のホームページによる情報発信を行う。
保護者向け情報誌（すこやか）の発行	長野県民新聞社と協力して、保護者向け情報誌「すこやか」を発行し、園児の全保護者に無償配布する。（年3回）
全国及び関東ブロックの大会、会議、研修会への参加	第58回関東ブロック保育研究大会（水戸市） 7月6日～7日 第61回全国保育研究大会（神戸市） 11月15日～17日 第51回全国保育士会研究大会（富山市） 10月26日～27日 関ブロ保育事業連絡協議会（川崎市） 9月7日～8日 関ブロ保育士の専門性を高める研修会（宇都宮市） 30年2月 全国保育協議会・全国保育士会の各種研修会 その他全国並びに関東ブロックの会議・研修会への参加 第61回関東ブロック保育研究大会（長野県当番）開催準備
各種会議の開催	通常社員総会、理事会、正副会長会議の開催
関係団体との連携	関東ブロック保育協議会会長の事務局を担当する。（H29,30） 長野県に「保育施策と予算に関する要望書」を提出する。 県下の保育士養成校と連盟役員の懇談会を開催する。 社会福祉関係団体等が主催する各種会議等に参加する。
参考図書等の斡旋	全国保育協議会等が斡旋する保育に関する図書などの紹介、斡旋
その他	保育園等で使用する保育要録等の共同印刷 その他必要と認められる事業

(一社) 長野県保育連盟 平成29年度一般会計予算書

収入予算額 25,290千円 支出予算額 25,290千円 差引 0千円

収入の部

(単位:千円)

項 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	説 明
会 費	18,402	17,980	422	保育所 5,000円× 555所= 2,775 従事者 1,500円× 7,000人=10,500 園 児 100円× 48,500人= 4,850 県社協 500円× 555所= 277
参 加 費	1,600	1,600	0	県研究大会参加費 2,000円×800人=1,600
事業会計繰入金	1,000	2,000	△ 1,000	共同印刷、斡旋図書還元利益等
雑 収 入	385	388	△ 3	地方活動費交付金(全保協・保育士会) 預金利子等
前年度繰越金	3,903	4,151	△ 248	
合 計	25,290	26,119	△ 829	

支出の部

(単位:千円)

項 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	説 明
事 務 費	8,323	8,315	8	
職 員 費	6,574	6,566	8	職員2名分給与・手当、社会保険料事業主負担分等
旅 費	150	150	0	役職員一般旅費
需 用 費	400	400	0	事務用品、光熱水費、コピー代等
役 務 費	500	500	0	電話料、郵便料、宅配便送料等
委 託 料	619	619	0	決算調整委託料、保守委託料
公 課 費	80	80	0	法人県民税、法人市民税、登録免許税
会 議 費	876	750	126	通常社員総会、理事会、正副会長会議等
事 業 費	10,048	11,005	△ 957	
研 究 大 会 費	3,360	3,170	190	保育研究大会(岡谷市) 講師謝金・旅費、助言者謝金・旅費、開催要綱、 大会資料の印刷、開催地交付金、実行委員会費、委託費等
研 修 費	1,371	1,309	62	関プロ大会・全国大会へ発表者等を派遣 中央研修講座受講補助 (施設長、主任保育士・主幹保育教諭) 食育研修、関プロ人材養成会議等派遣
調 査 研 究 費	1,559	1,922	△ 363	管理部会、保育部会、給食委員会の運営
食 事 リーフレット 配 布 事 業 費	345	345	0	リーフレット(子どもの食事3種類)印刷
広 報 費	1,444	2,355	△ 911	「保育しなの」発行(3回)広報委員会
保 育 所 地 域 子 育 て 塾	1,280	1,200	80	保育所地域子育て塾 4地区で開催
表 彰 費	50	30	20	会長表彰(表彰状、記念品)
中 央 会 議 費	639	674	△ 35	役職員の全国・関プロ各種会議派遣経費
負 担 金	4,276	4,303	△ 27	全国保育協議会、全国保育士会会費 関プロ会長会負担金等 長野県社会福祉協議会会費
積 立 金	1,600	1,600	0	関プロ保育研究大会(平成32年当番)、開催準備積立金
予 備 費	167	146	21	
合 計	25,290	26,119	△ 829	

(一社) 長野県保育連盟 平成29年度一般会計積立金予算書

(単位:千円)

項 目	金 額	備 考
平成28年度末積立金残額	5,201	
平成29年度 積 立 額	1,600	
一般会計からの繰入	1,600	
積立金利子	1	平成26・27・28年度積立分に対する利子 年0.02%、利子税15.3%
平成29年度取崩し見込額	0	
平成29年度末積立金残額見込額	6,802	

(一社) 長野県保育連盟 平成29年度事業会計予算書

収入予算額 13,694千円 支出予算額 13,694千円 差引 0千円

収入の部

(単位：千円)

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	説 明
共同印刷	2,800	2,700	100	保育要録等
研究集録大会参加費	2,800	2,800	0	研究集録(@2,000円)
予算対策協力金	1,000	1,100	△ 100	
諸 収 入	102	118	△ 16	図書斡旋、利子等
繰 越 金	6,992	7,307	△ 315	前年度繰越金
合 計	13,694	14,025	△ 331	

支出の部

(単位：千円)

科 目	予算額(A)	前年度当初予算額(B)	差引残額(A)-(B)	説 明
共同印刷	2,800	2,700	100	
保育研究大会	2,800	2,800	0	
予算対策協力金	500	550	△ 50	
一般会計繰出金	1,000	2,000	△ 1,000	
諸 費	6,594	5,975	619	
合 計	13,694	14,025	△ 331	

積立資産の部

(単位：千円)

項 目	金 額	備 考
定期預金	13,500	利払式

(一社) 長野県保育連盟 平成29年度長野県保育災害保障共済会予算書

収入予算額 1,305千円 支出予算額 1,305千円 差引 0千円

収入の部

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	説 明
分 担 金	55	55	0	加入分担金(1園)
補 助 金	0	0	0	
雑 収 入	11	7,111	△ 7,100	公社債投信等分配金 預金利子
繰 入 金	0	0	0	
繰 越 金	1,239	1,188	51	前年度繰越金
合 計	1,305	8,354	△ 7,049	

支出の部

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	説 明
運 営 費	40	40	0	
会議費	35	35	0	運営委員会、審査委員会
事務費	5	5	0	
事 業 費	1,000	1,000	0	
給付金	1,000	1,000	0	障害給付金第1級 2件分
積 立 金	15	7,111	△ 7,096	
新規積立	0	7,100	△ 7,100	
分配金再投資	15	11	4	公社債投信等分配金再投資
予 備 費	250	203	47	
合 計	1,305	8,354	△ 7,049	

(一社) 長野県保育連盟 平成29年度長野県保育災害保障共済会積立金予算書

(単位：千円・千円)

項 目	残高数量	備 考
平成28年度末現在額(A)	34,179	公社債投信 6本 大和円定期 2本
当期積立	0	
見込額	11	平成29年度分配金の再投資見込額
大和円定期利子積立	4	平成29年度分利子の積立見込額
合 計(B)	15	
当期取崩見込額	0	
平成29年度末見込額(A)+(B)	34,194	公社債投信 6本 大和円定期 2本

平成29年度(一社)長野県保育連盟 役員・委員名簿

顧問

役職名	氏名	住所	職名	施設名
顧問	飯島俊勝	上田市	園長	芙蓉保育園

正副会長

役職名	氏名	住所	職名	施設名	役職名	氏名	住所	職名	施設名
会長	海野 晁光	松本市	園長	認定こども園深志	副会長	武田 恵美	中野市	園長	平野保育園
副会長	小野塚 千鶴子	上田市	園長	神科第二保育園	〃	峰川 暁見	長野市	園長	芹田東部保育園
〃	橋爪 典子	伊那市	園長	竜東保育園	〃	牛山 まきみ	茅野市	園長	泉野保育園
〃	大山 玲子	塩尻市	園長	高出保育園	〃	鷹野 正子	佐久市	園長	岸野保育園

理事

地区	氏名	住所	職名	施設名	地区	氏名	住所	職名	施設名
東信	倉根 弘文	北相木村	園長	北相木保育所	中 信	北村 弥生	松川村	園長	認定こども園松川北保育園
〃	坂口 洋美	上田市	園長	西丘保育園	〃	小林 加奈栄	松本市	園長	波田中央保育園
〃	新海 美智子	佐久市	園長	青沼保育園	〃	中條 きよみ	大町市	園長	どんぐり保育園
南信	池上 かおり	諏訪市	園長	豊田保育園	北 信	牧 あさ子	高山村	園長	たかやま保育園
〃	高坂 満智子	駒ヶ根市	園長	すずらん保育園	〃	村田 恵子	長野市	課長補佐	長野市保育・幼稚園課
〃	三浦 寛本	根羽村	課長	根羽村住民課	〃	花岡 正典	長野市	園長	浅川中央保育園
					〃	内藤 格	須坂市	理事長	上高井保育園

監事

地区	氏名	住所	職名	施設名	地区	氏名	住所	職名	施設名
東・北信	紅林 裕子	上田市	園長	さなだ保育園	中・南信	篠原 ルミ	茅野市	園長	米沢保育園

代議員

地区	氏名	住所	職名	施設名	地区	氏名	住所	職名	施設名
南佐久	菊池 利恵	北相木村	主任	北相木保育所	上 田	赤羽 度紀江	上田市	園長	城下保育園
北佐久	竹内 英雄	御代田町	園長	やまゆり保育園	〃	三澤 邦子	上田市	園長	東塩田保育園
小 県	多田 治由	青木村	園長	青木村保育園	岡 谷	一ノ瀬 弥生	岡谷市	園長	長地保育園
諏訪郡	三澤 忍	富士見町	園長	本郷保育園	飯 田	鈴木 栄子	飯田市	園長	鼎みつば保育園
上伊那	田澤 かおる	宮田村	園長	宮田東保育園	〃	近藤 政彰	飯田市	園長	さくら保育園
〃	下島 あけみ	南箕輪村	園長	西部保育園	諏 訪	後藤 かおり	諏訪市	園長	文出保育園
下伊那	岡田 六久	阿南町	事務局 園長	教育委員会	須 坂	小林 庸高	須坂市	園長	さかた山風の子保育園
〃	宮澤 真由美	天龍村	所長	天龍保育所	小 諸	塩川 英子	小諸市	園長	南 保 育 園
木 曾	古畑 佳津代	木曾町	所長	木曾町子育て支援センター	伊 那	田中文代	伊那市	園長	上の原保育園
東筑摩	塚原 えつ子	朝日村	園長	あさひ保育園	〃	井上 ユミ	伊那市	園長	小 鳩 園
北安曇	笠井 幸江	池田町	園長	認定こども園池田保育園	駒ヶ根	小松 智子	駒ヶ根市	園長	赤穂南幼稚園
上高井	市川 孝子	小布施町	園長	わかば保育園	中 野	池上 美和子	中野市	園長	さくら保育園
北 信	大庭 紀子	栄 村	園長	北信保育園	大 町	原田 恵美	大町市	園長	たけのこ保育園
上水内	矢野 泉	飯綱町	園長	南部保育園	飯 山	芳川 瑞枝	飯山市	園長	秋津保育園
長野(公)	渡辺 美穂子	長野市	園長	象山保育園	茅 野	鋤柄 由美子	茅野市	園長	小泉保育園
〃	相原 真由美	長野市	園長	青木島保育園	塩 尻	太田 里美	塩尻市	園長	片丘保育園
〃(私)	渡辺 徹	長野市	園長	古牧東部保育園	ちくま	坂井 智子	千曲市	園長	杭瀬下保育園
〃	柳澤 澄夫	長野市	園長	ひよし保育園	佐 久	松川 たか子	佐久市	園長	白田保育園
松 本	田中 真澄	松本市	園長	あがた保育園	〃	青木 杉子	佐久市	園長	高瀬保育園
〃	市川 美千代	松本市	課長補佐	松本市保育課	東 御	北澤 美良	東御市	園長	和 保 育 園
					安曇野	福田 紀久子	安曇野市	園長	三郷南部認定こども園

平成29年度保育関係大会・研修会等日程表

(一社)長野県保育連盟 2017.5月現在

行事予定・研修計画	開催月日	開催場所	
大会関係			
第58回 関東ブロック保育研究大会	7月6～7日	茨城県水戸市	
第61回 全国保育研究大会	11月15～17日	兵庫県神戸市	
第51回 全国保育士会研究大会	10月26～27日	富山県富山市	
研修関係			
全国保育協議会	2017年度 教育・保育施設長専門講座 プログラム(1)	7月24～25日	東京都内または近郊
	2017年度 教育・保育施設長専門講座 プログラム(2)	8月8～10日	東京都内または近郊
	2017年度 教育・保育施設長専門講座 プログラム(3)	30年1月31～2月2日	東京都内または近郊
	平成29年度 公立保育所等トップセミナー	8月25～26日	新横浜プリンスホテル(神奈川県横浜市)
	平成29年度 保育所・認定こども園 保健・衛生専門研修会	6月29～30日	新横浜プリンスホテル(神奈川県横浜市)
	保育所・認定こども園リーダーシップセミナー	30年2月【予定】	東京都内または近郊
	平成29年度 リカレント研修会	30年1月～2月【予定】	東京都内または近郊
	共催 改定保育所保育指針研修会(H28までの「保育21セミナー」を改編、名称変更)	7月31～8月1日	新横浜プリンスホテル(神奈川県横浜市)
	第44回 全国保育士研修会	30年2月【予定】	調整中(大阪近郊又は東京近郊)
	第30期 主任保育士・主幹保育教諭特別講座 前期集中講義	6月9～12日	ロフォス湘南(神奈川県三浦郡)
第30期 主任保育士・主幹保育教諭特別講座 後期集中講義	9月29～10月2日	ロフォス湘南(神奈川県三浦郡)	
第13回「保育スーパーバイザー」養成研修会	8月23～24日	全社協・会議室	
平成29年度 食育推進研修会	8月2～3日	全社協・会議室	
県保連関係			
第57回 長野県保育研究大会	10月21～22日	岡谷市神明小学校・カノラホール	
保育所地域子育て塾 (東 信)	7月15日	東御市文化会館サンテラスホール	
〃 (南 信)	7月1日	駒ヶ根市文化会館	
〃 (中 信)	11月18日	松本市浅間温泉文化センター	
〃 (北 信)	7月8日	千曲市更埴文化会館あんずホール	
県社協 福祉人材研修センター			
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉職員生涯研修【リーダー課程(保育所等)】 ・福祉職員生涯研修【新任職員課程(保育所等)】 ・子育て支援機関三歳未満児担当保育士研修 ・子育て支援機関障がい児担当保育士研修 			
長野県社協の研修の詳しい開催日程、会場等は			
長野県福祉研修実施団体共同サイト【きやりあねっと】 http://www.career-net.jp/ をご参照ください。			
※冊子【きやりあねっと福祉研修ガイド2017】が県社協より、公立は各市町村へ、私立は各施設へ送付されています。			
★お問い合わせ 県社協 福祉人材研修センター 研修担当 ☎026-227-5208			

◎ 研修の日程や会場が変更になることもあります。

※ 新任保育士研修には、臨時・嘱託職員も積極的に参加してください。

※ 県社協主催の研修についても、受講料が必要です。



第1日会場 神明小学校

第五十七回 長野県保育研究大会

「すべての人が子どもと子育てに
関わりを持つ社会をめざして」

実行委員長 岡谷市 両角 むつみ

第五十七回長野県保育研究大会は、十月二十一日(土)二十三日(日)の二日間にわたり岡谷市を会場に開催されます。

岡谷市は、長野県のほぼ中央、諏訪湖の西岸に面し、東には八ヶ岳連峰、遠くに富士山を望み、湖と四季を彩る山々に囲まれた風光明媚なまちです。諏訪湖を起点に市内を流れる天竜川は、遠く浜松まで達しています。

現在の人口は5万人弱ですが、鉄道と高速道路が分岐する交通結節点として重要な役割を担っています。明治から昭和初期にかけては、シルク岡谷として世界に名を馳せた生糸の一大生産地として栄え、世界遺産となった富岡製糸場とともに日本の近代化を支えてきました。

戦後は、製糸で培った技術を礎に「東洋のスイス」と言われた精密工業が盛んとなり、ものづくりのまちとして発展してきました。

観光では、うなぎの消費量が多く、「寒の土用丑の日」発祥地として、市内にはうなぎの名店が多くあります。

また、満開の桜の回廊「横河川の桜」、中日本一と言われるつつじの名所「鶴峯公園」、もみじが色づく「出早公園」、諏訪湖一望の「やまびこ公園」、釜口水門から湖畔に広がる「湖畔公園」など、四季折々に美しい自然を楽しむことができます。

毎年八月の「岡谷太鼓まつり」では、勇壮な三百人揃い打ちにより、

豪快な太鼓が会場に轟きます。そのほか、郷土が誇る童画作家「武井武雄」を紹介する「イルフ童画館」、製糸業の偉業を伝え、国内で唯一、製糸工場を併設している「蚕糸博物館」など、自然と歴史、文化と産業が調和する「美しいものづくりのまち」です。

このような環境の中で、市内には、公立、私立を合わせて保育園が十六園、事業所内保育事業所が一園あり、子ども達の育ちを支えています。

岡谷市公立保育園では、平成十七年の食育基本法の制定以来、食育の研究を積み重ね、さらに郷土のよさを幼児期から体験し地域資源の食材と触れ合う「ほくもわたしもおかやつ子事業」や「キッズエプロン隊事業」に取り組み、岡谷市の食育推進計画と連動しながら食育活動を展開してきました。

活動を通じて、楽しく食べる子どもに育ってきてはいるものの、子ども達にさせたい体験が主になっていたり、食を営む力を育み、子どもが主体的に活動できるように、『よく考え、自ら行動できる子ども』を目指した取り組みを進めています。本大会では、「子どもの思いをくみ取る」



第2日会場 岡谷市文化会館「カノラホール」

「経験の積み重ね」「自らやってみたいと思える環境」「保育者、保護者、地域との連携や的確な見取り」の大切さをまとめ、発表させていただきます。

来年度より新「保育所保育指針」が施行されるにあたり、子どもの育ちの保障のためにも保育者同士が高めていく研修の場は重要になってきています。長野県保育連盟の皆様にご支援いただきながら、二日間の大회가スムーズに進行し、気持ちよく参加していただけるよう、また共に学び合い、実り多い大会となるよう準備を進めております。

皆様にお会いできることを楽しみに、心よりお待ちしております。

2016年度

(平成29年1月30、31日)

教育・保育施設長専門講座を受講して

高森町 保育専門指導員兼吉田保育園園長 富田久恵

高森町では、保育の質を高めるひとつの手段として、平成24年度から町独自の保育専門指導員を配置してきました。

平成28年度から保育専門指導員を引継ぎ、園長と兼務する中で、県保育専門相談会議や公立4園の園内研修にも参加してきました。

新保育所保育指針（以下、指針）が平成30年度に施行されるにあたり、指導員として、また、園長としてこれからの保育をどう見据えていったらいいのか、もっと広い視野で学びたいと思い、この講座を受講しました。

この講座は、新指針の検討を行う社会保障審議会児童部会保育専門委員長（白梅学園大学、学長）の汐見稔幸氏から直接、中間とりまとめの話が聞けることや以前、エピソード記述の講演で感銘を受けた京都大学名誉教授、鯨岡峻氏など、普段はなかなか聞く機会がない方々から話が聞けることも私にとっては魅力でした。

はじめに、保育を取り巻く国の動向や指針改定の背景にある近年の状況変化を聞く中で、少子化による園児数の減少はあっても未満児保育のニーズは年々、高まる一方であること

とや毎年、保育士確保に苦慮していること、施設の老朽化に伴い、数年後には統廃合もあり得るのかもしれない状況があることなど、高森町も同じ現状だということがわかりました。特に統廃合については、知らないうちに行政で進められることがないように、常にアンテナを張って情報収集をしていかなければという思いをあらたにしました。

高森町では28年度に正規職員を7名採用し、未満児の主の担任も正規職員が受け持つようになりました。それまでは、未満児の主の担任は臨時の保育士が受け持つのが当たり前でした。だからこそ、今回、乳児・1歳以上3歳未満児の保育に関する記載内容が充実されたことにより、一般の方が抱いているかもしれない、

私たち、保育者の仕事は「子守り」ではないことが証明され、汐見氏に背中を強く押された思いでした。

新指針では、乳幼児期は愛着関係の形成や信頼関係を築く一生のうちで一番大切な時期であることや保育者の責務がより明確になります。実践していくのは私たち保育者です。町内の未満児保育の現場では、一クラスの人数が多く、途中入所や里帰り出産のための短期入所もあり、月ごと保育室が足りず、0歳から3歳未満までを合同で保育している園もあります。十分、環境が整っていない中でも、目の前のひとり一人の子どもが、一瞬の出来事でも何を今、求めているのか察し、応えてあげる、気持ちを受け止めてあげる、共に喜び合うなど、子どもの心を育てていくことが保育のプロだということをあらためて認識しました。今後、日々の保育で、指導員として、町内園内研修に参加した際にも、活動がスムーズに計画通りに進んでいくことに捉われないで、ひとり一人に添いながら、保育者と子どもが心を通わせながら過ごしているかにも着目していきたいと思いました。

念です。子どもの命を守り、心が豊かに成長するように育み、支援していく、子どもが安心して遊び、生活できる環境づくり、地域と連携し、子育て機能を高める、研修を積み上げ、保育の質を高める努力をしていくことなど、施設長としての役割や責務であることをこの研修を受講してあらためて再確認をしました。でもその前に今1番の課題は、保育者がゆとりの気持ちをもって保育に臨める環境を作り出すことです。保育が終われば、掃除や翌日の準備、週日案の記入など限られた時間の中でやるべきことがたくさんあります。さらに研究会や組合活動、早期保育や延長保育を担当することもあり、常に何かに追われている状況にあります。子育て中の保育者もあり、この状況をいかに効率よく、工夫して行っていくか早急に考えていきたいと思っています。

この講座には北海道から沖縄まで全国各地から出席者があり、会場は熱気であふれていました。講座プログラムを全て受講すると保育活動専門員認定を受けることができ、知り合った方の中には、やっと終わったと安堵する方もいました。

主催者の方や留守の間、保育園を守ってくれた職員に感謝をし、今後、後に生かしていきたいと思っています。

保育士養成校と

長野県保育連盟との懇談会

～長野県の保育士育成のこれからを考える～

県内9校の保育士養成校の先生方と長野県保育連盟役員との懇談会を、3月9日、長野市内で開催しました。

《海野会長挨拶》

皆様方、本日はお忙しい中お越しただきましてありがとうございます。また本日は、長野県子ども・家庭課から鷺澤課長補佐様、幼保連携推進員の関先生にもお越し頂いておりますので、行政のお立場からご意見を頂戴できればと思っております。

「保育園落ちた。日本死ぬ。」という衝撃的ブログによって改めて待機児童、保育士不足の問題や保育士の処遇改善などの問題点が浮き彫りになり、我々の側としても学生さん達に実習先、就職先として不安視されているのではと危惧しております。

先に本日の懇談会の資料としてお送りした「保育体験の新しいデザイン」(保育ナビ1月号より)をもとに、保育実習に対するご意見などを頂戴できたらと思っておりますので、よろ

しくお願いいたします。

《県福祉大学校 伊東先生ご挨拶》

幹事校であります長野県福祉大学校の伊東と申します。保育連盟の皆様には、学生の実習あるいは就職先として大変お世話になっております。

このような場はあまり経験がなかなか緊張しておりますが、皆様の忌憚のないご意見を頂戴できればと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

《長野県子ども・家庭課 鷺澤課長補佐ご挨拶》

本日は、保育連盟と保育士養成校の懇談会に出席させて頂きありがとうございます。皆様には、日頃より県の施策に対しましてご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

県の保育関係事業のうち保育士人材確保対策としましては、昨年度の長野県保育連盟からの知事要望を踏まえまして、本年度から養成校の学生を対象とした奨学金制度をスタートさせました。また新年度では保育

士人材バンクの設立などの取組を新たに始めてまいります。

今後も皆様方のご意見を参考に取組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

その後、海野会長の進行で、保育士養成校側より実習等に対する問題点、課題や保育園側に対する要望などを中心に意見交換を行いました。



◎養成校

・学生には、実習先の園の保育課程を見せて頂く様指導していたが、実習先で「保育課程がない」「見せられない」と言われたことがあります。
・最近の学生は、周りの評価をとても気にしている。職員の先生方同士の何気ない会話や言動も敏感に感じ取り、時には傷ついて帰って来ます。

・理想と現実の違いに学生が苦しんでいる状況が見受けられます。保育士を希望して入学した学生が、異なった進路を選択することもあります。

・厳しい仕事である事を理解させるのも大切ですが、まずは保育士はやりがいのある素敵な仕事だということとを学生に感じ取って欲しい。

○県保連

・実習先として迎え入れる側の我々も、その先に就職先として選ばれる側であることを肝に銘じるべきです。
・実習生に限らず何事も、マイナスから見るのではなく、プラスから見るようにしていけば捉え方も変わるのではと思います。

・実習生が感じ取る保育士の言動は園児たち、そして保護者さんと同様に感じるのではないのでしょうか。現場の保育士は原点に戻り、気を引き締めるべきです。

最後に、ぜひ保育士養成校の学生には、長野県というこの地元で保育士になりたいと思ってもらえるように、長野県、保育士養成校、県保連が一体となって協力的体制を築き、保育実習の方法等について検討していくことを確認しました。

保育園訪問を通して思うこと

松本保健福祉事務所 保育専門相談員 田中 はる子

私は、昨年四月より、保育専門相談員として中信地区の保育園を訪問させていただいている。もともと松本市の保育園で四十年余り保育の仕事をしてきたことから、「相談員」として、現場で経験してきたことが何か先生方のお役に立てたらという思いでお引き受けした。

訪問を通して、どちらの保育園でも、先生方のあたたかい眼差しのもと、子どもたちが安心して生活しながら自立を獲得する姿や、保育士や友だちと色々な遊びを経験し成長し自信をつけていく様子を参観することができる。

保育の質が問われ、保護者の期待や要望も多様化する中で、年々保育現場は忙しさを増している。0歳児から6歳児までの発達の捉えと、就学までを見通した保育内容の精選、そして何よりも集団で育つ意味をしっかりと踏まえた保育が重要であることを、職員一人一人が認識した上で、実践していくことが求められている。

そのような現場で、責任の重さを感じながらも、子どもたちが成長発達する場にもにに喜びを

見出し、やりがいのある仕事として向き合っている熱心な先生方の姿がある。

昨年度末に、十年ごとに見直しが行われる保育所保育指針が平成三十年版として告示された。今年度は新指針の周知期間として位置付けられており、その内容を学び理解を深めていく一年である。

新指針の第五章は「職員の資質向上」についての記述である。『保育の質の向上に向けた組織的な取組』や『職員の研修等』では職場内での研修の充実が図られなければならない、など。また、『外部研修に参加した職員は、その内容を職場に伝え、保育所全体としての保育実践の質及び専門性の向上につなげていくことが求められている』とある。

訪問の際には、ほとどの園も研究保育が行われ、忙しい保育の中でも園長先生の配慮や先生方の工夫により、できるだけ職員が保育を見合う体制がとられる。午後には研究会がもたれ、午前の保育を中心に話し合われる。大事な職場内での研修の場である。

加えて、各郡・市では保育協会な

どが組織されており、公開保育や研究会が年に何回か開催されており、園内外の研修体制が確立している。

できるならば、訪問の機会に行われる研究保育もその一回で終わるのではなく、園の規模の大小にかかわらず、それぞれの保育を互いに見合うよう位置づけ、より学びを深め合うことが大事ではないだろうか。

さて、五月半ばに、日郡のある園で郡の主任保育士研究会が行われた。午前には公開保育、午後は研究会、規模は小さいものの主任保育士の学びの場であり交流の場でもある。

この日は、数年続いている園の田んぼで、4・5歳児が田植えをするというもの。



五月晴れのもと、地域や保護者の有志の皆さん協力しながら、五分の一ほどの広さの田植えをした後、田んぼ遊びが始まった。

真剣な田植えから一変、子どもたちは喜々として田んぼ中を走り回り、泥んこになり、開放感いっぱい遊んだの言うまでもない。地域の伝承を子どもにも経験させたいと

保育に組み入れることも大切な活動の一つであろう。しかし、せっかく借りている田んぼを活用しない手はない。二枚借りている田んぼの、一枚にはもち米を作り、もう一枚はいつでも田んぼ遊びができるようにするとのこと。なるほど、まさに信州型自然保育である。地域の自然を活かし、保育士の創意工夫も加えた環境により、主体的な子ども遊びがたくさん見られるだろうと期待がふくらむ。



子どもの思いを受け止めて

飯田保健福祉事務所 保育専門相談員 片山 徹

年少児は、木の実拾いでドングリや木の葉をたくさん集めました。保育士は、運動会や遠足でお弁当を楽しんで食べたのを思い出して、子ども達に、「何を作ろうか、お弁当つくろうか」と提案しました。子ども達は、ドングリをミニトマトやいちご、緑の松ぼっくりをプロッコリーに見立てて話は盛り上がりました。

まず、自分のお弁当箱が必要です。各自持ち寄った箱に、様々な色や模様の折り紙を切って貼り、弁当箱を飾り付けました。

木の実に色を着けておかずにしていきました。初めて、絵の具を手にして色塗りをします。ころころ転がる松ぼっくりやどんぐりを、見立てたおかずをイメージして色付けします。着色の次は、さらに本物に近づくように、折紙を巻いて松かさおにぎりにしたり、楊枝をさして団子にしたりして、工夫を重ねます。

お弁当箱に、カップにおかずを入れて、夢中で詰め込んでいきます。なかには、スキや落ち葉を彩に入れたお弁当もありました。子ども達は

喜びで「見て見て」と、弁当箱を見せてくれました。

子ども達は、お弁当を肩掛け袋に入れて、「散歩」を歌いながら、遠足に出かけ、食べる真似をして味わいました。お弁当の中身が踊らないように、弁当を横にする子もいました。もつとやりたい、また食べたいという声でいっぱいになりました。

子どもの興味関心が向いているところをつかんで、全体の活動をすすていきました。遊びの展開を見通せる保育士の専門性を感しました。

今日は、年少児が年中児年長児を招いて、お店屋さんごっこをする日です。年少児は、テーブルクロスを敷き、品物とレジを並べました。ジュースたこ焼き、松ぼっくりクッキー、チョコと葉っぱのクッキー、千歳あめ、ペロペロキャンディーの五つのお店があります。お金は、全園児が神社で拾ってきた落ち葉を使いました。いよいよお店屋さんを始める時のことです。お客さんが来る直前になって、S児は売る方ではなく買う方をし

たいと言い出しました。S児は、園庭の銀杏の葉でお菓子作りをしようとして最初に言い出した子です。落ち葉拾いのときには、保育園で拾うと言っていて、帰ってきてから銀杏の葉を拾い集めていました。何かかわるものがあつたのかもしれない。

お客さんが来てしまいました。S児は固まったままでした。S児は買い物を見ていることになって進めました。しばらくして、S児は保育士に、買い物に誘われ、銀杏の葉っぱのクッキーを買い、食事コーナーで食べました。お店屋さんが終わって、集まった落ち葉のお金を見て、こんなにあると見て見せてくれました。満足したものがあつたと思います。

お店屋さんその後、S児は外で遊びたいと言いましたが、保育士が提案したように、リズム室で遊ぶことに気持ちを切り替えることができました。室内遊びが終わると、S児は「ぼくのおうちだ」とつぶやいて、くまさん歩きをして一人で戻っていきました。

S児は、保育士が寄り添ってくれたことに居心地の良さや満足を感じていました。子どもに自分の気持ちを分かってくれたという経験があると、保育士の言うことを受け入れてくれます。子どもは待つていてくれる保育士に安心感を持ちます。

初めて、小学校一年生を担任した

時、学年主任に、小学校教員も保育士も子どもを見るプロである、勉強している先生は子どもを見て遊びや活動を何通りも考えられる、と教えていただきました。けれども、自分が一年生の担任をしていた時は、自分の思うようにならなくて、気持ちがいららして、子どもを良く見ることができなかったように思います。保育所訪問をしていると、古い記憶もよみがえってきます。

子どもの意識は、その時その時に応じて変わっていきます。しかし、その瞬間の子どもの思いを敏感に受け止めたい、そして子どもの遊びをいっそう広げたい、そのために、子どもを見る感性を磨き続けていきたい、と昔を振り返って思っています。

かわいいつぶやき

◎2歳女児 Cちゃん 絵本で「おたまじゃくし」を見ました。
保「これなーんだ？」おたまじゃくしを指差し
Cちゃん「おじゃま たくし!!」

◎担任の手がうっかり胸にあたってしまったA君

保「A君、先生の手があたっちゃってごめんね」

A君「ぼくのこころがこわれちゃう...」

地域に親しむ子ども…国分つ子

上田市 国分保育園 主任保育士 小林 ゆかり

国分保育園は、上田市の東部に位置し、東に烏帽子岳、西に北アルプスの山々が見え、南に信濃国分寺史跡公園、千曲川、新幹線のハープ橋、北に太郎山と季節の変化を感じる場所にあります。園の近くには信濃国分寺があり、これを拠点としたこの地域ならではの行事に家庭や園で参加する機会が多く、地域の方々に支えられ、大事にされて毎日元気に過ごしています。

当園の園目標の一つでもある「地域に親しむ子ども」及び、子育て支援の取り組みについて紹介します。

○春は国分寺の「花まつり」があり、お堂の中の小さなお釈迦様に小さな尺で甘茶を掛けて祝います。参加した園児に地域の方や、和尚さんが話をしてくださり、甘茶をいただきます。
・信濃国分寺史跡公園の藤は見事で、訪れる観光客の方との自然な交流が見られます。史跡公園は沿線を通るしなの鉄道の電車を間近に見ることができ「おーい」と手を振る子ども

もたちに「プーン」と汽笛を鳴らして返してくれるため、子どもたちにとっても興味深く楽しめる場所になっています。自然豊かな公園なので四季を通して楽しめます。

・国分寺の蓮池で「蓮の会」の方と一緒に池に入り蓮の根を植え付けます。泥の感触を楽しみながら地域の方とも交流をしています。また、蓮の会の方が蓮の根が入った大きな樽を届けてくださり、園でも蓮の観察や花を楽しむことができます。

○夏は国分寺で「蓮フェスタ」があり国分寺の御堂の中で歌を歌ったり、祭りに参加したりします。春に植えた蓮が見事に咲きともきれいです。蓮の葉を蓮の会の方と一緒に収穫させていただき、その葉を用いて地元の食文化である「蓮のおこわ作り」を一緒に楽しめます。また、蓮の葉で暑さ避けの日傘にしたり、プールに浮かべ葉が水を弾く様子を楽しんだり、茎がストローのようになっているのを発見し、シャボン玉

遊びに発展したりしています。

・上沖水土里会の方から「合鴨農作法」を教えていただいています。園児一人一人が鴨を田んぼに放す鴨の放鳥体験ができ、無農薬で、稲を育てる体験をしています。

・減反農地の活用として「ひまわり畑」があります。たくさんのひまわりを観賞し、上沖水土里会の方と一緒に採らせていただき、子どもたちに花をいっぱい持たせてくれます。家庭におすそ分けをしたり、絵を描いたりします。また今年度はひまわりの花びらで染物も検討しています。

○秋は史跡公園で木の実をたくさん拾ったり、落葉遊びを楽しんだりしています。

・合鴨農作法で収穫したお米を自分たちでおにぎりを作り、お米そのものの味を味わいながらいただいています。

○冬には国分寺の八日堂の縁日を見学します。

・宅老施設「国分の家」訪問を通して世代間交流をしています。
・その他に参加保育の実施や、地域の方が立ち上げたスポーツクラブの運動遊び・中学生との交流を実施しています。

・園の取り組みや子どもの様子をお知らせする「こくぶつこ通信」というお便りを、地域に向けて発信しています。

子育て支援として、参加保育・クラスだよりの見直し検討を重ね、保護者の求めるニーズに寄り添いながら、園と家庭、地域とが共に支え合って子どもの健やかな育ちを願っていききたい。そして、地域に愛され大事にされている事に感謝をしながら、地域に根ざした「心のふるさと保育園」を大切に、心を込めて愛情いっぱい保育をしていきたいと思えます。



異年齢児との関わりを通して

飯島町 飯島東部保育園長 伊澤美恵

飯島東部保育園は長野県の南部に位置し、園庭からは雄大な南駒ヶ岳を望むことができ、大きな自然の中で自分たちが生かされていることを日々感じることが出来ます。



園児数九十六名。未満児二十六名・以上児七十七名。今年度より、子育て支援センターが移転し、その部屋を未満児室としました。未満

児入園希望者の増加と、子育て支援センター利用者の増加に対応したものです。もともと支援センターとして建設された部屋ですので使い勝手はかなり悪いですが、少人数で過ごせることの良さを感じているところです。当園では、近年、運動遊びや食育活動、地域の方にお世話になっての農業体験などを通して、身体を思い切り使い、人との関わりの中で社会性を豊かにし、健康に心豊かに育てていくよう取り組んでいます。

また、日々の保育の中で、異年齢児との関わりも大切にしています。

昨年の夏祭りでの出来事を紹介させていただきます。日中のお店屋さんごっこに、手つなぎベアの年長児A君と年少児B君が、二人で手を繋いで、私が担当していた紙芝居屋さんに来ました。受付で年長児は少し慌てて「先生、B君のこと見てて」

とB君を私に託して部屋を出て行きました。しばらくして戻ってきたA君の手には、B君のハンカチがありました。紙芝居を見ながらチューチューアイスを食べるためのハンカチです。A君は、B君のハンカチがないことに気づき、B君が疲れていることも、すぐどこかへ行ってしまいうことも分かっているの対応でした。自分なりに考えて年下の子のために行動する姿をとても嬉しく思いました。夏祭りには、小学一年生も招待します。一年生には、保育園の頃の手つなぎベアの子と一緒にお店を回ってもらいます。懐かしそうにニコニコ笑顔で手を繋いでいる姿が印象的です。小学校の先生

も

「学校では、一番小さい一年生ですが、お兄さんお姉さんらしいところが見られて新鮮でした。」とおっしゃってくださいます。

「次はどこのお店に行く?」

とベアの子と相談したり、お店屋さんでの買い方を教えてあげたり、ほほえましい姿がたくさん見られる夏祭りです。夜から昼に変更して二年目の夏祭りでしたが、異年齢児の活動が増え、関わりが深まったことは思いがけない収穫でした。

普段の散歩も、年長児が年少児を連れて行ってくれることが多く、自然と年長児が車側を歩き、年少児のペースに合わせて歩く姿が見られます。年少の時に年長児にやってみてもらったことをよく覚えています。

毎年、ご近所の畑をお借りして、さつまいもの苗植えと芋掘りをさせて頂いています。そんな時も年長児が年少児にやり方を教え、手助けしてくれます。何のことか分からない年少児もすぐ横で見本が見られて安心のようです。年長児が思い切りつるを引っ張る姿を見て年少児も真似をします。初めは、年下の子との関わり方に戸惑う子どもだんだんと自然に関わるようになり、経験の大切さを感じます。



誕生会での会食、運動会での仲良しグループ競技・全体リズムなど、学年を超えて、小さい子をいたわりながら、大きい子に憧れながら育ち合っている環境づくりをこれからも続けていけたらと思います。

異年齢での活動が多いため、職員も他クラスの子とも関わる機会が多く、支援の仕方について職員同士で話ができます。色々な視点で子どもを見られること、担任一人で抱え込まず園全体で連携をとりながら保育できることも大事にしていきたいと思っています。

継続していくことの大切さ

東筑摩郡山形村 山形保育園 主任保育士 川上 美知代



山形村は、長野県の中央部に位置し、肥沃な農地による農業と大型商業施設などの商業が上手く融合され、松本市のベッドタウンとして人口も増加してきました。

唯一の村立保育園である山形保育園は、現在の園児数が約240名で、各年齢は3クラスずつあります。

多くの子も達が在園する中、全体で何か一つのことを実施するのは難しいことですが、取り組んでいる様々なことの中から、いくつか挙げたいと思います。

一つ目は、園児の健康づくりとして、20年以上続けている歯科指導があります。

3歳児・4歳児・5歳児、それぞれの年齢ごとに実施し、3歳児は保護者に向けて歯科衛生士と園の管理栄養士による講話、4歳児・5歳児はクラスごとに園児と保護者に講話・ブラッシングの指導・染め出し・個別相談を行なっています。

始めた当初は、1人で何本も虫歯のある子がいたり、乳歯は生え変わる

るからと仕上げ磨きや検診への意識も低かったりしたのですが、続けていくことで保護者の関心も高くなりました。

また、子ども達も食べた後のハミガキや仕上げ磨きが習慣になり、虫歯の保有率も少しずつ減少してきています。

二つ目は、地域の方々との交流です。

園での畑づくりを助けてくれる畑のおじちゃん・野菜の苗を分けてくれる近所のおじいちゃん・毎日の給食に地元の新鮮な野菜を届けてくれる農家のおばちゃんグループなど、様々な場面で地域の方々交流していただいています。

特に、村にあるブルーベリー農園では、何ヶ所かの農園から招待していただき、年齢ごとでブルーベリー狩りを楽しんでいます。

また、スイカ農家さんからも毎年スイカをいただき、「うわあー、大きいねー」「重いから、落とさないようにしなくちゃ。」「甘くておいしい

よ!」と、子ども達は地域の方々の優しい気持ちと共に、旬の特産品を味わっています。

そんな地域の方々感謝の気持ちを伝えたいと、お世話になった皆さんを招待して、年長児が中心となり『ありがとうの会』を開催しています。

各クラスで交流をしたり一緒に給食を食べたりして、心づくしのおもてなしをし、参加してくださった方々からは『子ども達に喜んでもらえるのが嬉しい』『子ども達に力をもたらって、また元気に頑張れる。』との声をいただき、子ども達も喜んで



そして、三つ目は異年齢児保育

です。

最近、年齢の違う子ども同士で遊ぶことが少なくなり、園でもクラスや年齢ごとで活動することが多かったのですが、今年、特に異年齢児での交流に力を入れて、毎日の活動や散歩を積極的にを行っています。

3歳児と5歳児での交流が多かったところを3歳児と4歳児と5歳児の3年齢で活動し、ペアになる子ども同士を決めたことで、親しみをもって一緒に遊んだり話したりするようになってきました。

5歳児は自分より年下の子を思いやる姿が自然と出てきて、3歳児は自分より年上の子へのあこがれの気持ちや言動を真似るような場面も見られ、それぞれに良い刺激となり、成長にもつながっています。

さらに、交流する中で4歳児も自分から年下の子と関わろうとする姿があり、その時々の子どもの気持ちを汲み取りながら内容を検討し、3年齢での交流をどう展開していくかが今後の課題です。

どの取り組みも、検討や改善を重ね、何年も続けることで少しずつ成果が出てきました。

これからも、継続していくことの大切さを感じながら、日々の保育に取り組みたいと思います。

親子で学ぼう 交通ルール

千曲市 稲荷山保育園 主任保育士 赤沼みゆき

私たちの保育園がある千曲市稲荷山地区は、江戸中期には善光寺街道の宿場町として栄え、明治期には、多くの土蔵の商家が立ち並び、賑わっていた歴史のある街です。当時の建物が、国の重要伝統的建造物群に指定され、子ども達の散歩コースのいたるところで、そうした歴史を感じさせる建物を今でも間近に見ることが出来ます。

遠い昔は、徒歩による人々の往来で賑わっていた稲荷山地区も、現在では町の中心部を走る坂城更埴バイパスが整備され、車の交通量が一気に増加し、子ども達が安全に通園や散歩をするためにはかなり注意が必要です。

そこで、当園では、春と秋に交通安全教室を企画し、どちらか一度は保護者の方にも参加していただき、親子そろって、交通ルールを学ぶ機会を設けています。今年の春の交通安全教室は、保育園の近くにある西部駐在所の署長さんと署員の方、地元交通安全協会の方にも出席して

いただきました。

子ども達の午睡中に、初めに駐在署長さんより、保護者の方向けに話をしていたいただき、併せてチャイルドシート着用の大切さを訴えるDVDの上映がありました。その中で、チャイルドシートをしていなかった場合のダミー人形を使った交通事故の実験映像は衝撃的で、保護者の方も真剣に見入っておられました。

そのあと、子ども達も参加し、子供向けの交通安全教室を行います。ここ何年かは、保育士が子ども達にもわかりやすい内容で寸劇を行い、交通ルールを守ることの大切さを伝えていきます。事前の職員会議で、最近の園の子ども達の安全面での課題を挙げ、どんなことにポイントを絞って伝えるかを話し合い、劇のシナリオを考えます。最近ではこの劇に、駐在所の方にも参加していただき、さらに内容を充実させていきます。

今年、「手をつないで帰る」「チャイルドシートに乗る」とびびる

い」という三つの約束に絞り、この日のために保育士で結成した「劇団ぼっちゃり」のメンバーがアドリブを交えながら熱演しました。ところどころで子ども達や保護者の方から笑いがこぼれ、また、大事な約束の場面では、「こんな時は、どうしたらいいのか？お巡りさんに聞いてみよう。」と保育士が子ども達に投げかけ、「教えて、お巡りさん」と、今度は子ども達と一緒に「お巡りさん」と問いかけます。ここで、さつそうとお巡りさんが登場。「こういう時はね」と、正しいルールを子ども達に話してください、という筋書きです。

駐在所の「お巡りさん」には、あらかじめ寸劇への出演の承諾を得ておき、前日の打ち合わせのときに台本をお渡ししてリハーサルを行います。慣れない劇への参加に、少々照れながらも毎年快く出演してください、おかげで子ども達も大喜びです。

その後、園庭と園周辺の道路に場所を移し、親子で実際に歩いてみながら実地訓練を行います。警察と安協の方に見守られ、いつもよりやや緊張しながら、左右を確認して手をあげて道路を渡ったり、保育士が操る信号機や車の動きを見ながら、園庭に描かれた横断歩道を渡ったりします。

こうした保育園での親子交通安全教室は、日常では忙しさのあまり、ついおろそかになりがちで正しい交通マナーを子ども達と一緒に確認し合える貴重な機会と言えるでしょう。

また、この日に限らず、子ども達には散歩の中でも「運転手さんに見えるように、頭より高く手をあげて。」と道路を渡る時に声をかけ、卒園を控えた年長児には、小学校に通う時に一人で安全に横断できるように、「前の人にたが着いて渡ると、車が来ていてもわからないよ。車が来ないかどうか自分で確かめてから渡ってね。」というように年齢に応じた言葉がけをしながら安全に対する意識が身に付くようにしています。

秋の交通安全教室では、散歩コースや通園時によく通る道路上で、危険箇所を写真に撮り、パワーポイントを使ってみんなで見合いながら、どんなことに気を付けて歩いたら良いか確認してみるのでもいいかな、と考えています。

交通安全教室の様子



郡市別保育所数等の推移

平成29年4月1日

郡・市 保育協会	27年4月				28年4月				29年4月			
	市町村数	保育所数			市町村数	保育所数			市町村数	保育所数		
		計	公立	私立		計	公立	私立		計	公立	私立
南佐久郡	6	10	10	0	6	9	9	0	6	9	9	0
北佐久郡	3	8	7	1	3	8	7	1	3	8	7	1
小県郡	2	3	3	0	2	3	3	0	2	3	3	0
諏訪郡	3	9	9	0	3	9	9	0	3	9	9	0
上伊那郡	6	27	27	0	6	27	27	0	6	27	27	0
下伊那郡	13	32	31	1	13	31	30	1	13	32	31	1
木曾郡	6	11	11	0	6	11	11	0	6	11	11	0
東筑摩郡	5	6	6	0	5	6	6	0	5	6	6	0
北安曇郡	4	6	6	0	4	6	6	0	4	6	6	0
上高井郡	2	3	3	0	2	3	3	0	2	3	3	0
北信	4	8	8	0	4	8	8	0	4	8	8	0
上水内	3	9	9	0	3	9	9	0	3	8	8	0
郡計	57	132	130	2	57	130	128	2	57	130	128	2
長野市(公)	1	34	34	0	1	33	33	0	1	29	29	0
〃(私)		44	0	44		45	0	45		46	0	46
松本市	1	49	43	6	1	50	43	7	1	50	43	7
上田市	1	43	33	10	1	42	32	10	1	42	32	10
岡谷市	1	16	14	2	1	16	14	2	1	16	14	2
飯田市	1	34	18	16	1	34	18	16	1	33	16	17
諏訪市	1	15	13	2	1	15	13	2	1	15	13	2
須坂市	1	15	10	5	1	15	10	5	1	15	10	5
小諸市	1	9	7	2	1	9	7	2	1	9	7	2
伊那市	1	22	20	2	1	21	19	2	1	23	19	4
駒ヶ根市	1	12	10	2	1	12	10	2	1	12	10	2
中野市	1	12	11	1	1	12	11	1	1	12	11	1
大町市	1	8	8	0	1	8	8	0	1	8	8	0
飯山市	1	10	9	1	1	10	9	1	1	9	8	1
茅野市	1	18	15	3	1	18	15	3	1	18	15	3
塩尻市	1	17	15	2	1	17	15	2	1	17	15	2
ちくま	2	21	17	4	2	21	17	4	2	21	17	4
佐久市	1	28	19	9	1	28	19	9	1	24	15	9
東御市	1	6	5	1	1	6	5	1	1	6	5	1
安曇野市	1	19	18	1	1	19	18	1	1	20	18	2
市計	20	432	319	113	20	431	316	115	20	425	305	120
合計	77	564	449	115	77	561	444	117	77	555	433	122
26年度	77	568	454	114	(注) 市町村数は、保育所・認定こども園が存在する市町村。 会員施設数は、保育連盟加入施設数。 *ちくま保育協会には、坂城町が含まれています。							
25年度	77	573	460	113								
24年度	77	581	470	111								
23年度	77	583	474	109								
22年度	77	597	488	109								

編集後記

四月に子育て支援センターからウサギを飼わないかという誘いを受けて様子を見に行きました。譲り受けるのは二回目の出産で生まれたウサギですが、小屋には三回目の出産をした親と八羽の子がいました。一か月ほどになった子ウサギが次々と穴から出てきては片方の親の上に乗ったり、なめてもらったりしているのです。こちらが母親かと思ったりそうではなく、ヒトで言う「イクメン」の父だということです。母親の方は隅の方でゆったりと草を食べていました。

所長さんは「お父さんはとても面倒見がいいのよ。イクメンのお父さんだからこんな子どもが産まれるのかね。」と話していました。ヒトもこんなに助けてくれる頼もしいお父さんがいたら、もっと子どもを産もうという勇気が出てくるのではないかと思います。核家族や働く環境が厳しい家庭でも安心して子どもを産み育てることのできる社会であって欲しいと思います。そのために保育園も子育てを喜びと思えるような支援をしていく場でありたいと思います。

これより二年間編集に関わらせていただきますが、「保育しなの」が皆様にとって役立つ情報源となりますことを願っております。

(広報委員長 千曲市八幡保育園 清水よし江)